美崎会グループのご紹介



国分中央病院

〒899-4332 鹿児島県霧島市
国分中央1丁目25番70号

TEL.0995-45-3085



サービス付き高齢者向け住宅

メディカーサ国分中央

〒899-4332 鹿児島県霧島市
国分中央1丁目25番51号

TEL.0995-73-7111



地域密着型特別養護老人ホーム

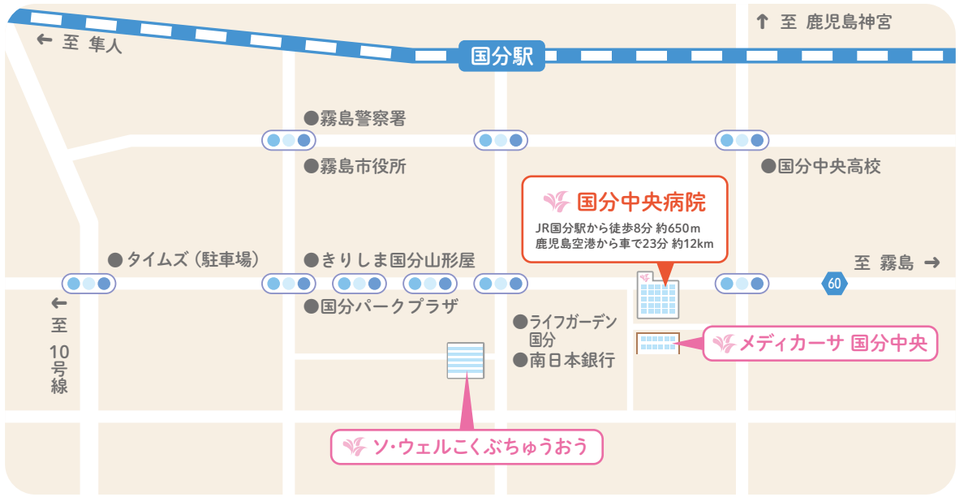
ソ・ウェルこくぶちゅうおう

〒899-4332 鹿児島県霧島市
国分中央3丁目12番29号

TEL.0995-73-8300

美崎会グループのWebサイトは下記よりご覧ください

http://www.misakikai.or.jp/ 美崎会 検索



■外来診療科目

●内科 ●呼吸器内科 ●循環器内科 ●消化器内科
●外科 ●皮膚科
●リハビリテーション科

診療時間のご案内			
外来診察日	月曜日～土曜日		
診療時間	月～金曜日	9：00～12：30（受付は 12：00 まで）	
		14：00～17：00（受付は 16：30 まで）	
	土曜日	9：00～12：30（受付は 12：00 まで）	

診療科目別の診察時間
令和8年4月現在

	診療科目		月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:30	内科	内科	○		○	○	○	
		呼吸器内科		○		○	○	
		循環器内科	○	○	○	○	○	○
		消化器内科		○	○	○		
	外科	外科					○	○
		皮膚科		○				
	リハビリテーション科		○	○	○	○	○	○
午後 14:00～17:00	内科	内科	担当医					
	外科	外科					○	
		皮膚科		○				
	リハビリテーション科		○	○	○	○	○	

下記の専門外来の診察曜日に関してはまずはご相談ください。
■糖質制限外来

MISAKI KOKUBU CHUO HOSPITAL NEWS VOL.23

編集／医療法人 美崎会 国分中央病院 IT・広報委員会 発行日／令和8年10月1日
〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央1丁目25-70 TEL 0995-45-3085 FAX 0995-45-3088

VEGETABLE OIL INK

MISAKI

Kokubu Chuo Hospital NEWS

vol.23

霧島市民に必要とされる施設
美崎会 活動 情報誌



安心・安全のために
私たちがしていること

FREE ご自由にお取りください

安心・安全のために私たちがしていること

看護・介護部



Q 普段どのような業務を担当していますか？

A 看護・介護部では、朝の挨拶から始まり体調の確認、内服管理、点滴や処置、清潔ケア、食事や移動のサポート、医師の診療補助、退院に向けた相談まで、患者様の一日を援助しています。「昨日より少し元気になられたな・今日はしんどそうだな」そんな小さな気づきを大切にしながら、患者様の不安に寄り添い安心して頂ける看護を心掛けています。

Q 感染対策として行っていることを教えてください。

A 手洗いをこまめに行い、テーブルや床頭台、ベッド周りの清拭や物品の消毒を丁寧に続けることを心がけています。患者様ごとに手袋やエプロンを使い分け、必要時には早めに情報共有すること、分からないことはすぐ相談しながら、みんなで清潔で安全な環境を守っています。

Q 患者様に安心していただくために心がけていることは？

A 慢性期の病院で高齢の患者さまが多いため、まずは笑顔でゆっくり声をかけ、気持ちに寄り添うことを大切にしています。不安や疑問があればその場で丁寧に説明し、「ここなら大丈夫」と自然に思っていただけるような、あたたかい雰囲気づくりを心がけています。

Q 患者様から見えにくいけれど、安心・安全のための大切な仕事はありますか？

A 記録の確認や医師からの指示、薬剤や内服薬のダブルチェックを行っています。薬剤や内服については、特に間違いのないよう確認しています。確認する際は、声に出して読み上げるとともに、指差し確認を心がけています。小さな準備や確認の積み重ねが、患者さんの『安心して任せられる』につながると感じています。

Q チームで連携する際に大切にしていることは？

A 患者様の小さな変化に気付いたら一人で抱え込まず声に出して相談できる関係を大切にしています。

そして情報を共有することで、みんなが安心して動けて、患者様にもスタッフにも優しいい環境を作る力になると思っています。

Q 最後に、患者様・地域の皆さまへメッセージをお願いします。

A 地域の皆様の“いつもの生活”を守るために、患者様のそばで寄り添い、支える存在でありたいと考えています。入院中の不安や心配に耳を傾け、退院後の生活まで見据えたサポートを大切にしています。これからも地域の皆様にこの病院があってよかったと思っていただけるよう看護を行っていきます。



2病棟
（地域包括ケア病棟）



食事介助



点滴交換



血圧測定



清拭（顔）



3病棟
（医療療養）



人工呼吸器管理



気管切開患者吸引中



胃瘻（いろう）より注入食





入浴の為
ストレッチャーへ移動

安心・安全のために私たちがしていること

リハビリテーション室



Q 普段どのような業務を担当していますか？

A 患者様一人ひとりに専任のリハビリ担当者がつきます。日々の小さな変化も見逃さず、お体の状態に合わせた最適なプログラムを安全に進めるためです。また、担当者だけでなくチーム全体で情報を共有し、いつでも全員で患者様の回復（維持）をサポートできる体制を整えています。





Q 業務の中で特に「安全」を意識している場面は？

A ベッドから車椅子への移乗や、歩行練習を始める「動き出しの瞬間」は特に緊張感を持っています。患者様のその日の体調や筋力の状態を見極め、バランスを崩されないよう細心の注意を払います。焦らず、無理のないペースで進めることが、大きなケガや転倒を防ぐ一番の近道です。

Q 医療事故やミスを防ぐために行っている工夫はありますか？

A リハビリを始める前には、必ずお名前の確認と、その日の血圧や体温などのバイタルチェックを徹底しています。また、ご自身での移動が難しい方のリハビリでは、周囲の環境（床の荷物や車椅子のブレーキなど）の安全確認をスタッフ間で声に出して行い、ヒューマンエラーを防いでいます。



Q 患者様に安心していただくために心がけていることは？

A リハビリ中の「お声がけ」を大切にしています。「次はこう動きますね」「お疲れはありませんか？」など、次に何をするかを事前にお伝えすることで、患者様の不安を和らげます。常に笑顔で寄り添い、小さな「できた！」を一緒に喜びながら、安心して体を動かせる雰囲気を作っています。



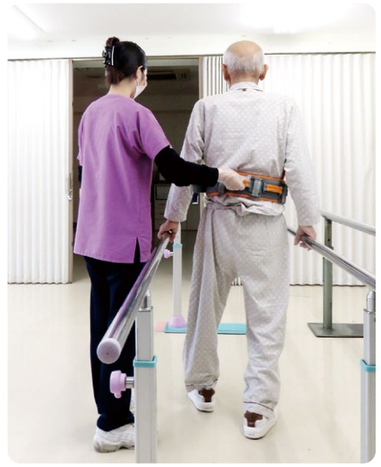


Q 患者様から見えにくいけれど、安心・安全のための大切な仕事はありますか？

A リハビリ室の枠を超えた「多職種カンファレンス（話し合い）」です。医師や看護師、ケアマネジャー等と定期的に集まり、リハビリの進行状況や注意すべきリスクを共有しています。全員が同じ目標と安全意識を持つことで、24 時間どの場面でも途切れない安心なケアを実現しています。

Q 最後に、患者様・地域の皆さまへメッセージをお願いします。

A 私たちリハビリスタッフは、皆様が「自分らしい生活」を取り戻せるよう、日々の安全を何よりも大切にしています。慢性期という大切な時期を、焦らず、一歩ずつ安心して歩んでいただけるよう、これからも万全のサポート体制で皆様をお待ちしております。気になることはいつでもお気軽にご相談ください。



安心・安全のために私たちがしていること

放射線科



Q 普段どのような業務を担当していますか？

A 放射線科では、レントゲン撮影やCT検査、胃透視、腹部超音波検査などを担当しています。医師が正確な診断を行えるよう、見やすく質の高い画像を提供するとともに、患者様が安心して検査を受けられるよう心がけています。



Q 業務の中で特に「安全」を意識している場面は？

A 検査前の患者確認は特に重要な安全管理の一つです。氏名や検査内容を複数の方法で確認し、誤認防止に努めています。また、必要最小限の放射線量で検査を行えるよう常に配慮しています。



Q 機器や設備の点検はどのように行っていますか？

A 検査機器が常に安全かつ正確に動作するよう、毎日の始業点検や定期的な保守点検を実施しています。画像の品質や放射線量に問題がないかを確認し、安心して検査を受けていただける環境を維持しています。

Q 患者様に「ぜひ知ってほしい」と思うことは？

A 放射線検査に不安を感じる方もいらっしゃいますが、検査で使用する放射線量は診断に必要な範囲で適切に管理されています。当院では被ばくをできるだけ少なくする工夫を行いながら、安全で質の高い検査の実施に努めています。

Q チームで連携する際に大切にしていることは？

A 医師や看護師、その他の医療スタッフと情報を共有し、患者様の状態に応じた対応を行っています。小さな気づきでも積極的に伝え合うことで、安全で質の高い医療につながると考えています。



Q 最後に、患者様・地域の皆さまへメッセージをお願いします。

A 私たちは、地域の皆さまに安心して検査を受けていただけるよう、日々技術の向上と安全管理に努めています。これからも正確な検査と安全な検査環境の提供、笑顔と丁寧な対応を大切にしながら、安心できる医療の提供に努めてまいります。



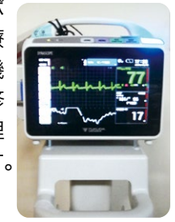
安心・安全のために私たちがしていること

ME（臨床工学技士）



Q 普段どのような業務を担当していますか？

A 人工透析と内視鏡検査に使う機械や人工呼吸器、輸液ポンプやシリンジポンプ等の医療で使用する機器の点検、修理、安全管理を行っています。



Q 業務の中で特に「安全」を意識している場面は？

A 特に安全を意識するのは、医療機器の設定、点検・修理をする時です。なぜなら、医療機器は患者様の体調に直接関わる場面で使用されるため、設定の間違いや、点検が疎かだと、必要時に使用できなくなり、正しい治療が行えず、患者様に悪影響を与えてしまうからです。

Q 医療事故やミスを防ぐために行っている工夫はありますか？

A 日々の点検の徹底や、設定変更の指示の時には、確認を２人で行い、他のスタッフとの連携もしっかり取り組んでいくことで医療事故やミスを防ぐよう心がけております。



Q 患者様に安心していただくために心がけていることは？

A 情報をできるだけ早く、詳しく伝えておくようにしています。作業を行うまでにどんな処置や検査をするか説明をしておき、コミュニケーションをとってから処置を行うことが出来れば、患者様も心に余裕を持つことができ、安心していただけると思うからです。

Q 患者様から見えにくいけれど、安心・安全のための大切な仕事はありますか？

A 医療機器の点検・修理だと思います。医療機器が正常に動くのは当たり前なのですが、その当たり前の安心安全を支えているのは、点検でおかしい所を見つけ、修理し万全の状態で使えるように準備しているからです。



Q 最後に、患者様・地域の皆さまへメッセージをお願いします。

A ME部署として万全の状態で患者様をお迎えし、しっかりサポートできるように、それぞれで準備しておりますので、これからも国分中央病院をよろしくお願いいたします。

